

埼玉県SDGsパートナー登録（様式第2号）取組事項の例及び指標の目安（※ 指標は現状値＜2030年となるよう設定をお願いします。）

三側面		取組事項	具体的取組	現状値	2030年に向けた指標	備考
環境	1	CO2排出量削減のため【取り組みの手法・手段を記載】により、電気使用量を削減する。	電気使用量の削減	●kwh/年【202×年】	【202×年】比 ●%削減(●kwh/年)	
	2	再生エネルギー利用率を増加させる。	再生可能エネルギー利用率の向上	●%【202×年】	●%	
	3	【具体的な取組】により、コピー用紙の使用量を削減する。	コピー用紙使用量の削減	●枚【202×年】	【202×年】比 ●%削減(●枚)	2030年は現状値より10%以上の削減を目安に設定
	4	CO2排出量削減のため、社有車を環境配慮型車両に入れ替える	環境配慮型車両導入率の向上	●%(●台/●台)【202×年】	●%	
	5		1台あたりの平均燃費の向上	●km/ℓ【202×年】	●km/ℓ/年	
	6		1台当たりの燃料使用量の削減	●ℓ/年【202×年】	●ℓ/年	
	7	【具体的な取組】により、CO2排出量を削減する。	CO2排出量の削減	●t-CO2/年【202×年】	【202×年】比 5%(※)削減(●L/年)	(※)記載の数値は目安
	8	【具体的な取組】により、産業廃棄物(種類を記載)の排出量を削減する。	廃棄物排出量の削減	●t/年【202×年】	【202×年】比 10%(※)削減(●t/年)	
	9	【具体的な取組】により、水道使用量を削減する。	水道使用量の削減	●t(m³)/年【202×年】	【202×年】比 10%(※)削減(●t(m³)/年)	
	10	【具体的な取組】により、事務所の緑化率を向上増加させる。	緑化率の増加	●%(●㎡/●㎡)【202×年】	【202×年】比 10%(※)増加	
社会	1	社員参加型の地域貢献活動を積極的に行う。	環境美化活動	●回/年・のべ●人参加【202×年】	●回/年・のべ●人参加	
	2		彩の国ロードサポート活動	●回/年・のべ●人参加【202×年】	●回/年・のべ●人参加	
	3		川の国応援団活動	●回/年・のべ●人参加【202×年】	●回/年・のべ●人参加	
	4		【ボランティア活動の名称】への協力	●回/年・のべ●人参加【202×年】	●回/年・のべ●人参加	
	5	【〇〇への寄付】または【〇〇(地域イベント名等)】への寄付/協賛を行う。	寄付または協賛	●円/年【202×年】	●円/年	他の取組と併記の場合、寄付(協賛)額は同額でも可
	6	インターンシップ(職場見学)の受入を行う。	受入回数・人数の増加	●回/年・のべ●人受入【202×年】	●回/年・のべ●人参加	
	7	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性管理職比率を向上させる。	女性管理職比率の向上	●%(●人/全管理職●人)【202×年】	●%	
	8	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性管理職数を増やす。	女性管理職数の増加	●人(全管理職●人)【202×年】	●人	
	9	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用率を向上させる。	高齢者雇用率の向上	●%(●人/全雇用者数●人)【202×年】	●%	
	10	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用者数を増加させる。	高齢者雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	
	11	【具体的な取組】により若年層(30歳以下)雇用者数を増やす。	若年層雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	
	12	多様な人材が活躍できる社会実現のため、障害者の雇用率を向上させる。	障害者雇用率の向上	●%(●人/全雇用者数●人)【202×年】	●%	※法定雇用率以上
	13	多様な人材が活躍できる社会実現のため、障害者の雇用者数を増やす。	障害者雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	※法定雇用率以上
	14	多様な人材が活躍できる社会実現のため、外国人の雇用率を向上させる。	外国人雇用率の向上	●%(●人/全雇用者数●人)【202×年】	●%	

埼玉県SDGsパートナー登録（様式第2号）取組事項の例及び指標の目安（※ 指標は現状値＜2030年となるよう設定をお願いします。）

三側面		取組事項	具体的取組	現状値	2030年に向けた指標	備考
	15	多様な人材が活躍できる社会実現のため、外国人の雇用者数を増やす。	外国人雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	
	16	【具体的な取組】により年次有給休暇の平均取得日数を増やす。	年次有給休暇平均取得日数の増加	●日/年【202×年】	●/年	法定の月45時間を超えないこと。
	17	【具体的な取組】により時間外労働を削減する。	時間外労働の削減	ひとりあたり●時間/月【202×年】	●時間/月	法定の月45時間を超えないこと。
	18	ワークライフバランス実現のため、男性の育児休業取得人数を増やす。	男性の育児休業取得人数の増加	●人/年【202×年】	●人/年	
経済	1	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性管理職比率を向上させる。	女性管理職比率の向上	●%(女性管理職●人/全管理職●人)【202×年】	●%	
	2	多様な人材が活躍できる社会実現のため、女性管理職数を増やす。	女性管理職数の増加	●人(女性管理職●人/全管理職●人)	●人	
	3	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用率を向上させる。	高齢者雇用率の向上	●%(●人/全雇用者数●人)【202×年】	●%	
	4	多様な人材が活躍できる社会実現のため、高齢者(65歳以上)の雇用者数を増やす。	高齢者雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	
	5	【具体的な取組】により若年層(30歳以下)雇用者数を増やす。	若年層雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	
	6	多様な人材が活躍できる社会実現のため、法定を上回る障がい者雇用に取り組む。	障害者雇用率の向上	●%(●人/全雇用者数●人)【202×年】	●%	※法定雇用率以上
	7	多様な人材が活躍できる社会実現のため、障害者の雇用者数を増やす。	障害者雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	※法定雇用率以上
	8	多様な人材が活躍できる社会実現のため、外国人の雇用率を向上させる。	外国人雇用率の向上	●%(●人/全雇用者数●人)【202×年】	●%	
	9	多様な人材が活躍できる社会実現のため、外国人の雇用者数を増やす。	外国人雇用者数の増加	●人(全雇用者数●人)【202×年】	●人	
	10	【具体的な取組】により年次有給休暇の平均取得日数を増やす。	年次有給休暇平均取得日数の増加	●日/年【202×年】	●日(できれば10日以上を設定)/年	現状値は法定日数を下回らないこと
	11	【具体的な取組】により時間外労働を削減する。	時間外労働の削減	ひとりあたり平均●時間/月【202×年】	●時間/月	法定の月45時間を超えないこと。
	12	ワークライフバランス実現のため、男性の育児休業取得人数を増やす。	男性の育児休業取得人数の増加	●人/年【202×年】	●人/年	
	13	地域の事業者との新規取引件数を増やす。	地域事業者との新規取引件数の増加	●件/年【202×年】	●件/年	
	14	資格取得やリスキリングのための支援や機会の提供を行い仕事のスキルアップ向上を推進している。	資格取得数の増加	〇〇(公的資格の名称)などの取得:●種	〇〇(公的資格の名称)など:●種	
	15	【(事業に関係のある)資格名を記載】の資格取得者数を増やす。	【資格】取得者数の増加	●人【202×年】	●人増加	